

自閉症・情緒学級第5・6学年学級活動（1）学習指導案

日 時 令和7年11月27日（木）

第5校時 13:30～14:15

対 象 第5・6学年B学級3・4組9名

授業者 T1 加藤 ゆい

T2 飛永 夏穂

会 場 1階 みどりB3・4組教室

1 議題 「お楽しみ会をしよう」（2/6時間）

学級活動（1）「学級や学校における生活づくりへの参画」

2 目標

2学期のみどりB学級のお楽しみ会について、みんなが楽しめる遊びを相談し、お楽しみ会ができるようにする。

3 評価規準

よりよく生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
①みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて、理解している。	①楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	①主体的に話し合いに参加し、互いの意見を認め合うことを通して、仲間を大切にしながら活動に取り組もうとしている。

4 活動について

（1）学習指導要領上の位置付け

本活動は、以下のとおり学習指導要領第6章の〔学級活動〕の2「内容」に基づく。

1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義を及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるように指導する。

（1）学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

児童会などの学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。

(2) 教材観

これまでの学級会

回数	日付	議題名
第一回	5月 2日	B学級みんなで遊びを考えよう。
第二回	7月 10日	ウォーターフェスティバルをしよう。
第三回	10月 31日	第2回B学級みんなで遊びを考えよう。
第四回	11月 27日	お楽しみ会をしよう。

1学期末には、まだ学級会を児童主体で進めることが難しい実態があったため、教師主体でB学級のお楽しみ会を計画し、実施した。1学期のお楽しみ会終了時には、「またやりたい」と答えた児童が8割ほどであった。学級会の進め方についても理解が進んだため、2学期は5・6年生が中心となって計画・実施する形をとる。児童自身が今までの学級活動で経験してきたことを活かして、お楽しみ会を企画・実施することを期待している。

1学期のお楽しみ会では、4つの教室にブースを作り、各教室でゲームを実施した。遊び内容は、教員で相談した。本活動では、この3つの遊びの内容を児童に計画させたい。

1学期の学級会では、「みどり学級全員が楽しめる活動を計画すること。」をめあてとしたが、今回の学級会では、「学級会の進め方に沿ってそれぞれの役割に自信をもって参加する。」をめあてとする。

また本学級会では、司会が司会台本に沿って全体の意見をまとめ、話し合いがスムーズに進むようにする。なお、クラスの人数が少ないため、書記は教師が行う。

発言のルールは、「静かに手をあげて発言しよう。」「相手の話を最後まで聞こう。」とし、定着が見られている。

5 児童について

目指す児童像（みどり学級）

個別の課題に向き合い、目標の達成に向けて意欲的に取り組み、集団活動ができる児童

(1) 児童観

みどりB学級3組は、5年生5名（男子3名女子2名）、B学級4組は6年生4名（男子2名女子2名）のクラスである。B学級は自閉・情緒学級で、相手の気持ちを想像することが難しく、自分の思いだけで行動してしまうという特性がある児童が多い。休み時間等にトラブルが起こることがたびたびあり、そのたびに教員が互いの話を聞き、整理して解決している。トラブルの原因としては、ルールの思い違いによるものがほとんどであった。昨年度1年間をかけ、ルールの確認やトラブルの解決方法を指導してきたことで、今年度からは自分たちで解決できることも増えてきた。

第1回の学級会では、一人の児童が自分の出した意見に賛成する人がいないと怒るという場面があったが、昨年度経験してきた7名の児童からは「そういうわけじゃないから、大丈夫だよ。」という声があがり、自分の意見が通らないもどかしさや、多数決だけでは決定しないというルールの理解ができ、身に付いていることが分かった。

1学期末に実施した「ウォーターフェスティバルをしよう」では、学級会当日に欠席してしまい、

学級会に参加して自分の意見を話したり友達の意見と比較して考えたりすることができなかった児童がいた。活動の最後には、全員がウォーターフェスティバルを楽しむことができたが、学級会の経験が不足している児童や、まだ自分の意見を通したい気持ちが強い児童も未だ多くいる。話し合いの目的に関係なく「前回意見を譲ったから今回は通してほしい。」と言ったり、「今回はこれを絶対にやりたい。」と自分がやりたいことを通したりすることがある。また、意見を否定されることが嫌であったり、自分の出した意見が議論されることに対して「争われている」という感覚になり、意見を取り下げてしまったりする児童もいる。

一方で、昨年度からみどり学級に在籍している児童は、学級会が予定されていると知るととても喜ぶ。定期的に学級会を実施し、話し合い活動に積極的に参加することで、目標の達成に向けて意欲的に取り組み、集団活動ができるようになることが期待できる。

（２）目指す児童の姿

（１）の実態により、話し合い活動を重ねることで自分の意見を通すことではなく、話し合いの目的に沿って意見を出したり譲ったりすることができる児童を目指す。

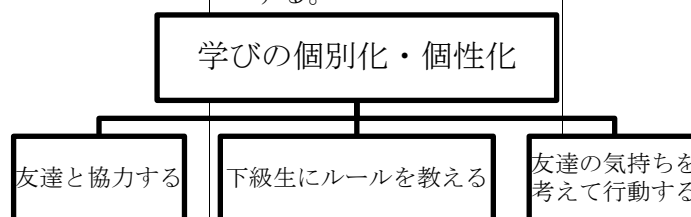
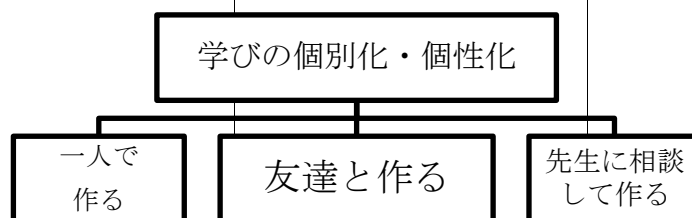
6 研究主題に迫るための手だて

個人間差異	想定される課題 (想定される具体的な姿)	本単元で行う手だて
行動目標の 違い	- 不安が強く、発言をやめてしまう。 - 自分勝手に発言したり、自分本位の意見を出したりする。	- 教師と相談したり、事前に意見を書き込んだりすることで、自分の意見に自信をもって発言できるようにする。 - 自分の意見を教師と相談し、提案理由を確認することで、みんなが楽しめる活動であるかを考えられるようにする。 - 下学年のことを想像させることで、今まで経験した遊びの中から選んだり、自分で新しく考えたりするようにする。

7 指導計画と評価計画（6時間扱い） [: 個別最適な学び : 協働的な学び]

時	◇目標 ○主な活動 ・児童の反応	◆指導上の留意点 手だて	【評価規準】 《評価方法》
1 	◇お楽しみ会が行われる日や、1学期の活動内容を知り、イメージをもつことができるようにする。 ○学級会の議題を知る。 ○どんなことができるか考える。 ・準備が少ないじゃんけんゲームをしよう。 ・ジェンガやドミノなど、もうある遊び道具を使おう。	めあての明確化 ◆お楽しみ会のねらいを伝える。 ◆個人の目標についても個別に伝えることで、意識できるようにする。 ◆どんなことができるか考える。	【思・判・表】① 《発言・観察》
学びの個別化・個性化 一人で調べる 友達と相談する 先生に相談する			
2 (本時)  	◇司会台本を見たり教師の助言を聞いたりしながら、学級会を進めることができる。(司会) ◇意見の出し方や聞き方のルールを守って参加することができる。(司会以外) ○お楽しみ会でやる内容を決めるために、学級会を行う。 ○「出し合う」で意見を出し合う。 ○「くらべる」で意見を比べ、賛成や心配を出していき、意見を絞っていく。 ○お楽しみ会で行う遊びを決める。 ○振り返りを行う。	司会台本 提案理由の明確化 ◆提案理由に基づいて話し合いを進めるようにする。 黒板での意見の整理 (視覚的支援) ◆賛成(赤)・心配(青) 意見などは視覚的にわかりやすいように色分けして表示する。 振り返りのルーティン化	【知・技】① 《スプレッドシート》 【態度】① 《発言・観察》
学びの個別化・個性化 発言に消極的な児童 自分の考えに自信があり、固執する児童 自分の話を止めることができない児童 自分の意見に自信をもつ 友達の意見を受け入れる 友達の話を最後まで聞く			

3  	◇3つのグループに分かれて、決まった遊びについて実施計画を立てる。 ○決まった遊びについて役割分担（ルール説明担当等）を決める。 ○グループごとに実施に向けて準備を始める。	個人のめあての明確化 ◆決まった内容からずれないようにする。 ◆役割分担について納得ができるように話し合いをする。 ◆実施日や準備日を再度伝える。見通しをもてるようにする。	【知・技】① 【態度】① 〈発言・観察〉
4  	◇グループごとに計画を立てて協力して準備する。 ○話し合いで決めたことを実施に沿って準備をする。 ○準備の進み具合を共有しながら進める。	個人のめあての明確化 ◆役割ごとに計画に沿って進められているか、確認をしながら進める。	【態度】① 〈発言・観察〉
5  	◇話し合いで決めたことをもとに役割分担をして、お楽しみ会を開く。 ○計画に沿ってお楽しみ会を開く。	個人のめあての明確化 ◆始める前に計画を振り返る時間を設け、実施計画通りにできるようにする。 ◆実施中も声をかけ、不安なく進められるようにする。	【思・判・表】① 〈発言・観察〉



6  	◇お楽しみ会の振り返りをする。 ○みんなで話し合ったことをもとに実施することができたか、みどり学級みんなが楽しむことができていたか振り返りを行う。 ○お楽しみ会については、次回への引き継ぎを行う。 ○他にもみどり学級みんなで楽しめることを考える。	振り返りのルーティン化 ◆個人のめあてを再度提示し、それに対してどうであったか、振り返りを行う。 ◆3学期のお楽しみ会に向けて出来ることを考え、意欲を繋げられるようにする。	【思・判・表】① 【態度】① 〈発言・振り返りカード〉
---	---	--	--

8 本時の指導（全6時間中の第2時）

（1）本時の目標 学級会の経験を活かし、みんなが楽しめる遊びについて合意形成することができる。

（2）本時の展開 [ : 個別最適な学び  : 協働的な学び]

学習形態	○学習内容・学習活動	◆指導上の留意点、配慮事項 【評価規準】〈評価方法〉 手だて
導入 5分 	○はじめの言葉を言う。 ○議題、提案理由、話し合いのめあての確認をする。 議題 「お楽しみ会をしよう。」 ていあん理由 遊びのルールを守れない、自分勝手に行動してしまうという子がいて、困っている。 みんながルールを守って楽しめる遊びをすることで、B学級1～6年生がより仲良くなる。 めあて 話し合いのルールを守って、発言する。 ○遊びの条件を確認する。 ①みんながルールを守れること。 ②準備が簡単に済むもの。 ③時間内にできる遊び。 ④教室内でできる遊び。 ⑤3つの遊びにする。	司会台本 提案理由の明確化 個人のめあての明確化 ◆議題、提案理由、話し合うことを確認させる。 ◆本学級では人数が少ないことと、多くの仕事を児童が覚えたり実行したりすることの難しさから、教師がする仕事内容の紹介と司会の指名をする。 ◆司会には司会台本を渡し、それに沿って進められるようにする。 ◆個人のめあてを示し、めあてを意識して進められるようにする。 ◆話し合いの条件を提示することで、条件に沿って話し合いを進めることができるようにする。

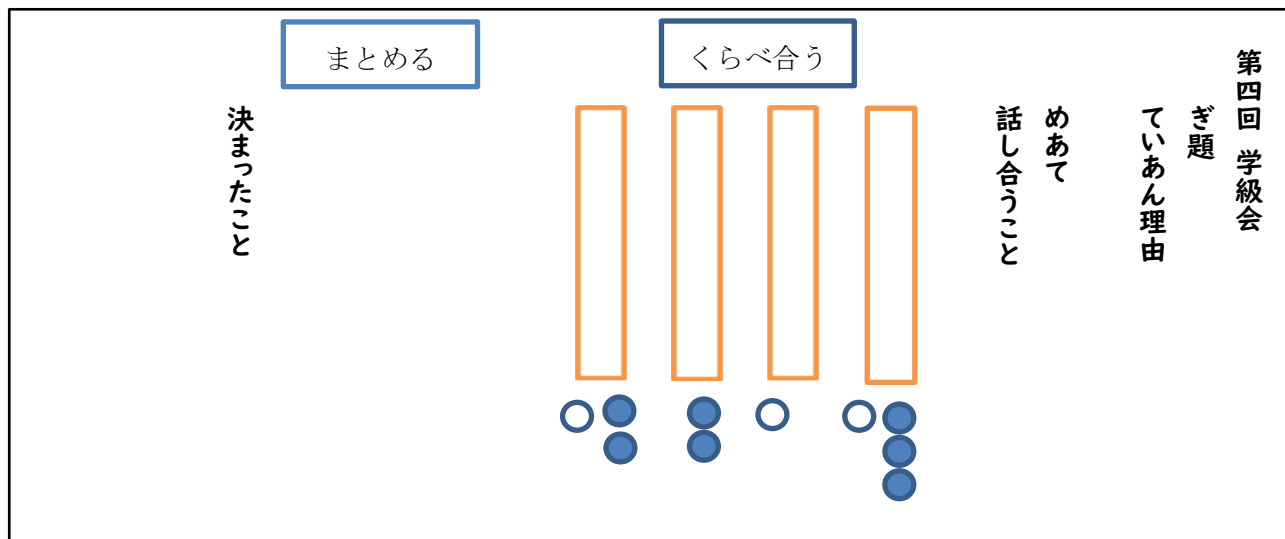
展開 30 分 	○話し合いを行う。 比べ合う ・その意見に対して、提案理由に基づいて賛成や心配〈反対〉を出す。 まとめる ・合意形成の仕方を基に、遊びを決定する。 ○決まったことを発表する。	黒板での意見の整理（視覚的支援） ◆できるだけ理由も含め意見を言うように伝える。 ◆賛成（赤）・心配（青）意見などは視覚的にわかりやすいように色分けして表示する。 ◆時間内に話し合いを終えられるよう、タイマーを用いて、残りの時間を意識できるようにする。 ◆賛成意見だけではなく、心配なこと（反対意見）や意見を言えたことも認め、褒めることで自信につなげる。 ◆司会への助言は適宜行う。また、全体に聞こえるように助言することで、司会の仕方を全員が学べるようにする。 ◆児童から出た意見をメモする。（T 2） 【知識・技能】② ・話し合いの進め方を理解している。（司会児童）〈発言〉 ・学級会での意見の話し方や聞き方のルールを理解している。〈発言・観察〉 【態度】③ ・自分の考えをすすんで言う。〈観察〉 ・友達の話をよく聞いて、友達の意見を大切にしようとしている。〈発言・観察〉
終末 10 分	○スプレッドシートを用いて個人の振り返りを行う。 ○教員の話聞く。 ○終わりの言葉を司会が言う。	振り返りのルーティン化 ◆スプレッドシートを用いて個人の振り返りを行う。 ◆児童の活動の様子（発言、行動、つぶやき等）を終末の助言で取り上げる。（T 2） ◆これからの実践への意欲付けを行う。

（３）本時の評価

- ・学級会の経験を活かし、みんなが楽しめる遊びについて合意形成することができる。（全員共通）
- ・自分の意見に自信をもって発言することができる。（A，B，C 児）
- ・友達の意見を聞き、みんなが楽しめる遊びを考え発言することができる。（D，E，F 児）
- ・B 学級 1～6 年生のことを考え、楽しめる遊びを考え発言することができる。（G，H，I 児）

※本時の児童の評価は個別の評価とするため、児童の実態と本時の個別の評価は別紙にてご参照ください。

(4) 板書計画



(5) 資料 (スプレッドシート振り返りに使用・振り返りカード第6時の振り返り時に使用)

司会者	月 日								
みんなの意見を聞くことができましたか。		▼	感想						
意見をまとめることができましたか。		▼							
全員の意見を聞くことができるように工夫をしましたか。		▼							
5月 29日									
友達の話を最後まで聞くことができましたか。	◎	▼	感想						
意見を言うときに勝手に話さず、手を挙げて言うことができましたか。	○	▼							
話し合いの目的に合わせて、自分の意見を変えたり、ゆずったりすることができましたか。	○	▼							
5月16日									
友達の話を最後まで聞くことができましたか。	◎	▼	感想						
意見を言うときに勝手に話さず、手を挙げて言うことができましたか。	◎	▼							
話し合いの目的に合わせて、自分の意見を変えたり、ゆずったりすることができましたか。	△	▼	緊張して1回止まったことが悔しかった						
月 日									
友達の話を最後まで聞くことができましたか。		▼	感想						

お楽しみ会をしよう。～振り返りカード～

個別の目標(一人一人、目標が違います。自分の目標達成のためにがんばろう。)

【○○ ○○】

みんなが楽しめることを考えながら、^{さんせいはんたい}賛成反対の意見を言おう。

楽しかったこと

^{かいぜんてん}改善点(もっとがんばろうと思うこと)

新しい意見(こんなことやりたい)